

7月主題 『そうそう』

主よ、朝ごとに、わたしの声をきいてください。詩篇5篇4節



今週は、熱発者も多く見られました。初めての夏で、暑さに慣れていない子どもたち。外に出る時間も限られ、大人に比べ子どもは、地面から近いこともあり、大人の暑さを感じるよりも7度高いと言われています。室内で過ごす時間が多くなりますが、水分補給をこまめに行い、熱中症に気を付けて過ごしていきたいと思います。今週は、保育園でも流行っている病気についてのお知らせとなります。

気をつけましょう！！～夏の病気～

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、高熱や喉の痛みなどの症状があり、特に口の中に水泡などができ食欲低下（ミルクを飲まない）などがあります。2日～4日の潜伏期間を経て発症することが多い病気になります。もし、罹患したら...

- 刺激の少ない食べ物を食べさせる（味は薄く軟らかいもの 例：ゼリー等）
- 水分は、できるだけこまめにとる

RSウイルス

RSウイルスは、発熱、のどの痛み、透明な鼻水、全身倦怠感、食欲低下（哺乳量の減少）などの症状があります。「喉・鼻」の症状から、強い咳や喘鳴(ゼーゼーと音のする呼吸)などの「気管支・肺」の症状に進行していきます。RSウイルスは、飛沫感染と接触感染で広がっていきます。

1歳までに、50～70%近くの子どもが感染し、3歳までにほぼすべての免疫を獲得するとされています。

新型コロナウイルスも5類へ移行し、人の移動が活発になっています。日頃から手洗い・うがいの徹底をしていきましょう。これからもヘルパンギーナ・RSウイルス・アデノウイルス・手足口病・プール熱などの流行が懸念されます。園でも、玩具の消毒・換気を日頃から意識していますがご家庭でも気を付けてお過ごしください！！